



**東急不動産**

2019年12月19日

松前町  
東急不動産株式会社

## 北海道松前町と東急不動産

### 風力発電事業と地域活性化に関する協定書を締結

松前町（所在地：北海道松前郡松前町、町長：石山英雄）と東急不動産株式会社（所在地：東京都渋谷区 代表取締役社長：大隈郁仁）は、松前町における風力発電事業の推進と地域活性化及び防災基盤の整備に向け、協業に係る協定書を締結したことをお知らせします。

東急不動産は2019年4月に松前町において一般家庭約30,000世帯分の年間消費電力を供給する北海道で初の蓄電池併設型風力発電所「リエネ松前風力発電所」の運転を開始しており、風力発電事業を活かした地域活性化及び防災基盤の整備と、更なる風力発電事業の推進に向けて松前町との連携を強化してまいります。

#### <概要>

##### 協定書締結の目的

東急不動産が実施する風力発電事業の推進を通して、風車が発電する電気の活用、松前町の地域経済の発展、活性化を両者で連携して行う。

##### 連携事項

～松前町総合計画の実現に向けた協力を軸に取り組みを進める。～

- ・災害時に風力発電所の電気を使用できる仕組みづくり
- ・松前町の定着人口と観光客を増加させるための観光資源や産業の育成への取り組み
- ・地域資源を活用した活性化促進と松前町の魅力発信への取り組み
- ・地方創生及び地方再生に資する社会基盤整備の協力 外

### <参考>リエネ松前風力発電所について

東急不動産が松前町において開発を進めた風力発電所。2019年4月3日に運転を開始しました。

特徴としては、北海道電力の「風力発電設備の出力変動緩和対策に関する技術要件」を満たす風力発電所として、初めて運転を開始した風力発電所となり、蓄電池システムを利用することで、風による発電の出力変動を吸収し、安定した電力供給を可能としています。

また、シーメンス・ガメサ・リニューアブルエナジー社製の風車(定格出力3,400kW)12基を採用し、一般家庭約30,000世帯分(※)の年間消費電力に相当する10,590万kWh/年の発電量を想定しています。タワーの高さは94m、ブレードを含めた全高は148mとなり、2019年4月時点で運転している風車としては日本最大となります。

※1世帯あたり3,530kWh/年で算出

### <リエネ松前風力発電所の概要>

名称	リエネ松前風力発電所
場所	北海道松前郡松前町
発電容量	40,800kW(3,400kW×12基)
風車発電機	SIEMENS Gamesa RENEWABLE ENERGY 社製 (シーメンス・ガメサ・リニューアブル・エナジー社製)
蓄電池容量	18,000kW(日本ガイシ株式会社製 NAS 電池)
風車の概要	タワー高さ 94m ブレード長 53m



リエネ松前風力発電所の風車

以上